

# おぐに 支所からの お知らせ



発行・編集：小国支所地域振興課 TEL0258-95-5905 FAX0258-95-2282 Email ogn-chiiki@city.nagaoka.lg.jp

3月27日、おひさま児童クラブでわいわいスポーツ活動が行われました。

子どもたちが楽しくのびのびと活動できる行事を企画しており、今回はキンボールを使って体を動かしました。

ウォーミングアップにはゲーム方式で追いかっこ。

体が温まると、さぁ本番！子どもたちの背丈と変わらない大きなボールを元気いっぱい追いかけてまわしていました。



4月2日（月）から、特定非営利活動法人MTNサポートが運営主体となり小国地域生活交通が運行開始しました。

運行開始日当日は、利用者の方が、車両の大きさが変わったり、運賃の支払などで少し戸惑われる姿もありましたが、運転手の声かけなどによりスムーズに利用いただいているようです。

この路線に限らず、公共交通は、地域にとって大切な公共施設の一つです。維持していくためにも、多くの皆様からご利用いただきたいと思います。

よりよい運行にするために、ぜひ運行に関するご意見、ご要望などをお聞かせください。

今後とも、よろしく願いいたします。

産業建設課 土木施設係 ☎95-5906



4月7日（土）、オープンしたばかりの小国地域総合センター「だんだん」で、小国文化フォーラム主催の講演会が行われました。

長岡郷土史研究会会員の本山幸一さんを講師に「小国の江戸時代」と題して講演をいただきました。

小国町史に掲載されている元禄5年1月の「郷鏡帳」を通して江戸時代の小国郷を振り返りました。



## 4月から小国交番に着任しました！

小国交番に着任された2名の職員を紹介します。



小国交番所長

尾崎秀幸（おざき ひでゆき）です。地域の行事に積極的に参加してみなさんとの交流を図っていきたく思います。よろしくお祈いします。



宮嶋文夫（みやじま ふみお）です。皆さんが実感できる安全で、安心な地域づくりを一步一步進めていきます。よろしくお祈いします。

## 年一回の予防注射は愛犬家の義務です

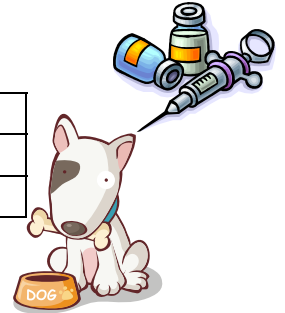
犬の飼い主は毎年 1 回、狂犬病の予防注射を受けさせなければなりません。小国地域では下記の会場で予防注射を実施します。事前の予約は不要です。会場には印鑑をご持参ください。(犬の飼い主の方には、個別に案内が郵送されています。)

平成 24 年 4 月 23 日 (月)

会 場	時 間
小国会館 (旧農環センター)	午前 10 時 30 分から午前 11 時 30 分まで
小国支所 庁舎裏車庫	午後 1 時から午後 2 時まで

※ 料金は登録済みの犬は 3,100 円、新規登録の犬は 6,100 円です。

※ 今年から会場が 2 箇所となりました。



☎ 小国支所市民生活課 環境係 ☎ 95-5900

## 在宅高齢者の安心連絡システムの対象を拡大します！！

ひとり暮らしの高齢者が、安心して生活できるよう実施している安心連絡システムの対象を現在の市民税非課税世帯から市民税課税の方にも拡大します。

利用条件 75 歳以上のひとり暮らしで介護認定の要介護 1～5 を受けていない方

利用料金 非課税の方：月額 500 円

課税の方：月額 1,500 円

※ 障害者の安心連絡システムの対象者等は、これまでと変更はありません。

※ 申請は、小国支所市民生活課福祉係 ☎ 95-5900 までお願いします。

☎ 小国支所市民生活課 福祉係 ☎ 95-5900

## 新潟県中越大震災復興基金事業のお知らせ

地域の復興を支援する 2 事業が、平成 24～26 年度の間に実施されます。5 月初旬ころに公募が開始される予定となっておりますが、申請を予定される方は事前に地域振興課までお問い合わせください。

なお、補助対象事業は、基金事務局が設置する審査会でのヒアリング等により決定されます。

### ①地域資源活用・連携支援

既にある取組みや人的資源の連携により、新たなビジネスの創出に発展させる取組みや、地域資源を活用する若者等の起業を支援します。

補助率：3/4～10/10

上限額：連携支援 年間 1,000 万円 (3 年間で総額 2,000 万円以内)

起業支援 年間 200 万円 (2 年間で総額 400 万円以内)

※起業支援補助対象者は、連携支援と一体となって取組む者。

事業実施期間：連携支援は 2 年以上 3 年以下。起業支援は 2 年間。



### ②地域経営実践支援

住民が主体となって地域の課題を克服し、持続可能な地域コミュニティや地域経営の確立を目指す取組みを支援します。

補助率：3/4～10/10

上限額：年間 1,000 万円 (3 年間で総額 2,000 万円以内)

事業実施期間：2 年以上 3 年以下



☎ 小国支所地域振興課 地域振興・防災係 ☎ 95-5905

アオーレ長岡 ナカドマ山菜マルシェ出店者・オープニング協賛事業募集中!

詳しくは、市政だより 2012.4.1 号 7 ページをご覧ください。

小国支所 代表電話:95-3111 1階FAX:95-5914 2階FAX:95-2282 (小国支所では代表電話の他に各課に直接つながる直通電話がご利用いただけます。)								
支所長		野口 剛						
1階	課名	主幹・課長	総括副主幹・副主幹	係名	係長	総括主査	課 員	臨時職員
	市民生活課 95-5900	岩野 守男	山田 典子	市民係	峯村 克夫 (環境係長兼職)	樋口 正	田中 美佐子 北原 一栄 中山 浩美	高橋 美佐代 青柳 朝子
				環境係		相波 英幸		北原 祐
				福祉係	山田 典子 (福祉係長事務取扱)	五十嵐 義和	佐藤 元則	佐藤 真理子 (介護認定調査員)
				保健係	山田 春美		高木 弥生 高野 真弓	江口 文子
2階	課名	主幹・課長	総括副主幹・副主幹	係名	係長	総括主査	課 員	臨時職員
	地域振興課 95-5905	小川 貞一		総務係	山岸 みどり		小林 未紀 中村 俊郎	山崎 益雄 (法坂簡易郵便局)
				地域振興・防災係	湯本 利昭	高橋 豊	丸山 直子 小林 哲哉	平澤 弘一
				教育支援係	藤田 豊		池原 千晴 大橋 美加	内山 典子
	産業建設課 95-5906	大橋 好博		商工観光係	田中 一夫		真貝 正人 保坂 時美	高橋 歩 松田 奈々加
農林係				北原 光男		鈴木 久美子		
土木施設係				阿部 貴子		赤松 ゆり子 丸山 浩一	岡村 二三男	

小 国 診 療 所 電話:95-2010 FAX:95-5212				
医師	事務長	看護師長	職 員	臨時職員
(所長)金子 吉一 山本 高史	田中 一久	大久保 恵子	(事務職)田中 久子 米山 弘夏 中村 美保 (放射線技師)近藤 昭夫 (看護師)星野 優子 山我 浩子 杉原 晴美 内山 純子 安達 明美 三谷 清子 小野塚 幸恵 田中和香子 五十嵐 朋華 (看護補助員)山本 真紀子 山崎 真奈美 (調理師)西野 学	片桐 藍子 青柳 亜紀子 松山 幸代 小林 香奈 樋口 キミ子 北原 邦子

ひまわり 保 育 園 電話:95-2029			
園長	副園長	職 員	臨 時 職 員
長谷川 敦子	星野 典子	(保育士)永井 裕子 駒形 留美子 永見 千秋 佐藤 由利 (調理師)竹部 きみ子 中村研一	飯田 あけみ 峯村 尚子 北原 聡子 吉田 陽子 野田 智子 山谷沙緒理 西澤麻里奈 保坂恵美子 内山 桂子 藤田 久恵 竹畑 瞳 佐藤 由香 原 美沙 加瀬 美江子 品田 春代

小 中 学 校		
学校名	職 員	臨 時 職 員
上小国小学校 95-2069	(管理員)根津 元子 (調理師)富澤 友子	瀬沼 昇子(調理)
渋海小学校 95-3115	(管理員)田中 昭雄 (調理師)小林 順子 猪爪 真美	
下小国小学校 95-2208	(管理員) (調理師)笹崎 文子	高野 勝美(管理) 高橋 昭子(調理)
小国中学校 95-3121	(管理員)田中 博孝 (調理師)木村 富士美 中村 真奈美	高橋 真弓(調理)

小国地域総合センター 電話95-3575	臨時職員	(管理員)中村 りよ
		小国公民館:(館長)松田 勇 (社会教育指導員)山本 綾子
		児童クラブ:(児童厚生員)高橋 倫子 田中 洋子




## 平成 24 年度長岡市克雪すまいづくり支援事業について

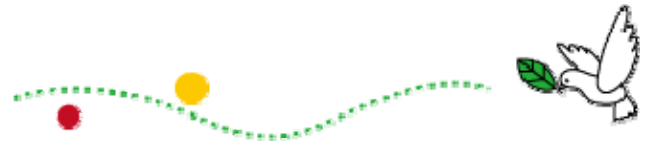
雪下ろしに伴う住民の負担・危険などの軽減を図り、冬期の居住環境の改善に寄与するため、克雪住宅の建設などを行う方に、工事費の一部を補助します。

ただし、申請には条件があります。ご不明な点は、担当課までお問合せください。

対 象 地 域	小国、山古志、栃尾、川口地域
補 助 対 象 者	下記のすべてに該当する方。 ※過去に克雪住宅建設などの補助を受けたことがある方は対象になりません。 ○自己の居住に供する目的で、克雪住宅を対象地域内に新築、増改築、改良または購入する方 ○前年の所得金額が 1,000 万円以下の方 ○市税の滞納をしていない方 ○平成 24 年度中に工事が完了する方
補 助 対 象 住 宅	融雪式、落雪式、耐雪式住宅 ※別途基準があります。
補 助 金 交 付 額 (※千円未満切捨)	①融雪式、要援護世帯が行うもの 補助対象工事費(上限 250 万円)×0.176 (上限額 44 万円) ②落雪式、耐雪式住宅 補助対象工事費(上限 250 万円)×0.132 (上限額 33 万円)
申 請 受 付 期 間	平成 24 年 5 月 28 日(月)から平成 24 年 6 月 8 日(金)まで ○交付申請書に必要な書類を添えて、 <b>着工前に申請</b> をしてください。 ○申請額が予算を超えた場合は、 <b>抽選</b> となります。ご了解の上、申請してください。 ※申請額が予算の範囲以内である場合は、10 月末日まで先着順で受け付けます。

 小国支所産業建設課 土木施設係 ☎95-5906

## 心の健康相談会のご案内



心の病気は、脳の病気であることがわかってきました。ほかの病気と同じく、早期の対応や治療が大切です。専門医による相談会です。お気軽にご相談ください。

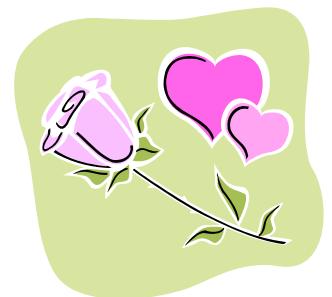
日 時	会 場	担 当 医
5 月 15 日(火) 午後 2 時～午後 4 時	小国診療所検診棟 1 階検診室	柏崎厚生病院 直井医師


◆内 容 専門医師による個別相談

◆申し込み 相談は、事前に予約が必要です。おいでになれない場合は、電話相談ができます。  
 この日以外の相談は、保健師にご相談ください。

～このような悩みがある方は、ご相談ください～

- ※部屋にひきこもって外に出ようとしない。
- ※気分が沈む、夜眠れない、食欲がない。
- ※最近暴言や暴行など性格が変わってきた。言葉や行動がおかしい。
- ※物忘れがひどくボケたのではないか。
- ※酒の飲み方が異常、酒を飲むと暴れる、仕事をしない。
- ※不安な感じがして落ち着かない、イライラするようになった。
- ※思春期の問題(不登校、家庭内暴力、拒食、過食、あせり等)
- ※配偶者間の暴力。



 小国支所市民生活課 保健係 ☎95-5900

長岡市では、合併の不安感を解消するとともに、いずれは「ひとつの長岡市」になるための住民自治の実現に向け、地域住民と行政とが一体となってまちづくりを推進するため、まちづくりの検討や各種計画への策定協議を行う市長の付属機関として地域委員会を設置しています。

地域委員会の役割



- ★地域のまちづくりについて考える
  - ・住民主体のまちづくりを進めていくには、どうすべきか。
  - ・全市的な視点でまちづくりを議論するには、どうすべきか。
- ★地域のまちづくりについて意見を述べる
  - ・各種計画策定などに関すること
  - ・制度調整、地域固有業務などに関すること

第1分科会「シンポジウムの思いを継続するための事業検討」について報告

地域委員会第1分科会では、H23年7月3日に開催された「これからの医療と福祉考えるシンポジウム」を踏まえて、シンポでの基調講演やパネルディスカッションの内容、さらに参加者アンケートから課題を検討し、このシンポを一過性に留めることなく継続させていく視点で捉え、具体的な事業や活動の必要性を検討することになりました。

【分科会の開催経過】

第1回	H23. 7. 20	・分科会メンバーの決定、テーマについての検討
第2回	H23. 9. 7	・部長(角山)、副部長(中村)の選任、テーマについての話し合い継続
第3回	H23. 11. 17	・具体的で実行可能な事業の提案(働き盛り世代と高齢者対策)
第4回	H23. 12. 20	・H24年度ふるさと創生基金事業への提案について検討 ①元気な小国を育てる事業 ②高齢者元気支援事業
	H24. 2. 3	(仮) 元気な小国を育てる事業実行委員会への参加
第5回	H24. 2. 21	・ふるさと創生基金事業について、分科会として担当者を分担して主体的に関わることを確認する ①元気な小国を育てる事業(角山、中村、山田、今井) ②高齢者元気支援事業(山崎(豊)、山崎(広)、角山) ※上記の実行委員会へ地域委員会第1分科会として参加する
	H24. 3. 6	第2回元気な小国を育てる事業実行委員会に参加

【意見交換の視点】

- ・シンポ開催以降の課題の整理、議論を深めてほしいとの要望もあり掘り下げていく必要がある
- ・小国地域総合センターが出来れば、一箇所に集うことで交流が盛んになる
- ・高齢化対策(在宅福祉サービス、在宅での安心安全、夜間安心コール)の充実
- ・小国診療所の存続が重要(診療所の受診者が減少傾向にある)
- ・医療施設(診療所、横田クリニック)の充実と利用の促進
- ・民生委員からの問題点、若い人からの参加を促す、核家族化の解消
- ・家族介護から介護の社会化へ
- ・各種活動を活発に、「男性」の参加促進



H24年度の具体的な取り組み事業として、以下のとおり提案することになりました。

◆元気な小国を育てる事業

【趣旨】 働き盛り世代は、仕事や子育てに多忙で運動不足や食生活に偏りが生じやすく体力低下や生活習慣病予備軍等、子供たちにも影響が出やすいため、食に関する講演会とウォーキング大会を実施し運動を始める動機付けの機会としたい。

【日時】 平成24年7月1日(日) 9:00~14:00

【会場】 小国会館 多目的ホール及び地域内ウォーキングコース

【内容】 食育に関する講演会、ウォーキング、ニュースポーツ紹介

【効果】 広い世代に運動や食事を通じた健康づくりの普及啓発が図れる

【その他】 より多くの参加者を募る観点から、学校主催の「地域連携フォーラム」も共催を検討中

## ◆高齢者元気支援事業

【趣旨】・高齢化の顕著な小国地域

- ・当地域で、いつまでも自立した生活が送れるよう介護予防や健康づくりが切実になっている。
- ・これまで以上に、住民と関係機関が協働して問題解決に当ることが重要

【内容】・福祉関係機関によるワークショップと住民参加のワークショップの企画開催

- ・後期高齢者向けけんこつ体操教室の立ち上げと既存教室の参加者を増やす取組み
- ・地域型介護予防ディサービス修了者の集まりを立ち上げる
- ・けんこつ体操インストラクターの育成
- ・上記を、地域住民に知らせるための「PR 通信」の発行

【期間】H24 年 4 月～H25 年 3 月（\*年間を通しての取組み）

【会場】小国地域総合センターを主な会場とする

- 【効果】①高齢者にとって体操教室や集える場が増える  
②健康な高齢者の増加と質が向上



## 第 2 分科会「地域産業の活性化」について報告

【分科会の開催経過】

第 1 回	H23. 7. 20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正副分科会長の選任（次回へ持ち越し）</li> <li>・検討事項の絞込み</li> <li>・視察先の決定</li> </ul>
第 2 回	H23. 9. 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正副分科会長の選任 部長：田中 副部長：五十嵐</li> <li>・検討テーマの決定</li> <li>・視察研修</li> </ul>
	H23. 10. 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生産組織の視察・意見交換会</li> </ul>
第 3 回	H23. 11. 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（農）鷺之島生産組合との意見交換会のまとめ</li> <li>・今後の予定協議</li> </ul>
	H23. 12. 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域委員全体研修（栃尾地域）</li> <li>・温泉施設の取組み ・かりやだ交流会の取組み</li> <li>・菅畑農家レストラン</li> </ul>
	H24. 2. 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生産組織との意見交換会 三桶生産組合 生産組合：鷺尾総務部長</li> </ul>
第 4 回	H24. 2. 21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三桶生産組合との意見交換会のまとめ</li> <li>・中間報告取りまとめについて</li> </ul>

【報告】

ア. 地域の農業生産組織の現状

規模や自然条件の異なる二つの農業生産組合との意見交換のなかで小国の対照的な生産組織の実態を知ることができた。また、いずれも現在将来の課題を認識しているが、解決に向けた具体的取り組みは多岐にわたり、これからというところである。

- ① 一つは基盤整備を出発点として組織した「平場」の生産組合です。（農）鷺之島生産組合では大区画により低コストを目指し、規模拡大経営を進めているが、集落単位を基本とした経営規模は他産地では個人経営も可能なものである。

安定雇用の確保から 6 次産業化を目指しているが、生産、労務、加工、販売、施設管理、経理等、その経営内容は多岐にわたる。

比重は少ないとはいえ、条件不利地である沢田をかかえ、低農薬等付加価値をつけたコメの生産、直販を模索している。

また、年間を通じての生産体制を構築し、地域の通年就労の機会確保も目指し、野菜生産用ハウスや加工施設を設置し生産を開始している。今後販路の拡大を進める必要がある。



- ② 一方、大区画圃場整備が不可能な山間地の取組みとしては平成 23 年設立された三桶生産組合の事例である。

発足したばかりで実績はこれからとなるが条件不利地の生産組織として注目したい。

「平場」地域より一層高齢化が進む中で耕作放棄地が一段と進むことから、地域の農業については地域の存続の危機感等を背景として、「何とかしなければ」との共通認識のもと生産組合の立ち上げとなった。アンケート等で地域住民の声を聞き、現状を把握しながら当面する問題の解決に当たることとしている。

特徴の一つは「作り続けられるうちは自分で耕作」であり、「ダメになったら組合で受ける」ということである。アンケートの中で規模拡大を考えている農家も少ないながらもあったことから、こうした農家を受け皿として耕作放棄を防止していくこととしている。

また、こうした動きに合わせ、農業振興地域の拡大を図り、中山間地直接支払事業では協定農地の拡大に積極的に取り組んでいる。

## イ. 課題

- ① 大区画圃場経営により低コストをめざしながらも、コメ生産だけでは安定就労や安定経営には課題があり、野菜や加工で通年就労の創出に踏み出している。

生産から加工、販売と従来の農業とは異なり一次産業、二次産業、三次産業を併せ持った経営体制にふさわしい技術や営業、管理といった対応が必要であり、他の生産組合や他産業との人材等も含めた連携協力が必要との認識を持っている。

また、地域においては農業に直接携らない世帯が増加することにより、従来からの共同作業や季節ごとの話題等、農業にまつわる地域コミュニティや将来の地域定住の課題も考えられる。

- ② 条件不利地域の中で耕作放棄地の拡大を防ぎ、集落機能を守り農業生産をどう継続していくか。山間農業集落の共通課題である。

そうした課題を現実的に即して地域の合意をもとに無理なく当面できることからスタートしている。農地への係わりを各農家の自由意志に任せ、耕作できなくなったときの受け皿としての生産組合の存在は地域の一定の安心感になるものと思われる。

しかし、将来を見据えると集落内の引き受け農家の高齢化の問題等、雇用や地域資源を活用した複合的な生業（なりわい）の創出の可能性も考えられる。



## 平成 23 年度 地域委員の活動状況

### ◆第 1 回地域委員会 平成 23 年 5 月 13 日

#### 【議題】

- (1) 正副委員長の選任について
- (2) 平成 23 年度長岡市地域コミュニティ事業の審査について

- (3) 地域委員会の役割について
- (4) 地域委員会での議論のテーマについて

#### 【報告】

- (1) 平成 23 年度当初予算の概要について
- (2) 精度調整について
- (3) その他



### ◆第 2 回地域委員会 平成 23 年 7 月 20 日

#### 【報告】

- (1) 「これからの医療と福祉を考えるシンポジウム」を終えて
- (2) 地域公共交通協議会の検討状況について
- (3) 小国の名力士柏戸・両国を顕彰する会の結成について
- (4) その他

#### 【議題】

- (1) 地域の課題解決に向けた取組み（案）について

### ◆第 3 回地域委員会 平成 23 年 11 月 17 日

#### 【議題】

- (1) 平成 24 年度小国地域ふるさと創生基金事業について

#### 【報告】

- (1) 総合特区指定申請について

- (2) 決算状況について

- (3) 小国地域総合センター（仮称）について
- (4) 小国地域総合防災訓練の実施結果について
- (5) その他

### ◆女性地域委員交流会 平成 23 年 11 月 25 日

（おぐに森林公園交流体験館）

- ・山の駅おぐにもったいない村について
- ・おぐに・食と農を考える会取組み紹介
- ・テーマ別ワークショップ

### ◆地域委員全体研修 平成 23 年 12 月 14 日

（栃尾地域）

- ・温泉施設の取組み
- ・かりやだ交流会の取組み
- ・菅畑農家レストラン



### ◆第 4 回地域委員会 平成 24 年 2 月 21 日

#### 【報告】

- (1) 豪雪対応について
- (2) その他

#### 【議題】

- (1) 平成 24 年度小国地域ふるさと創生基金事業について

### ◆第 5 回地域委員会 平成 24 年 3 月 23 日

#### 【議題】

- (1) 平成 24 年度分科会の検討について
- (2) その他

八石ぼたん(シラネアオイ)は、日本固有の高山植物として知られる希少植物で、八石山のような標高の低い山に自生する例は極めて少なく、貴重な小国の財産となっています。その八石山の自生も年々少なくなってきましたが、毎年 増殖、栽培をして山に戻す活動をしている中村さんの植栽地を一般開放していただき八石山の野草(シラネアオイなど)とふれあう鑑賞会を開催します。植生保護のため、普段は開放しない貴重な鑑賞会ですので、ぜひこの機会をご利用ください。

なお、地元のみなさんによる、あんぷ、笹だんごなどの郷土料理も出店予定です。5 日は、もちつきお楽しみに!



- ◆日 時 平成 24 年 5 月 1 日(火)から 5 月 10 日(木)まで  
午前 10 時から午後 3 時まで  
◇出店 5 月 3・4・5・6 日 午前 10 時から午後 2 時
- ◆場 所 小国町八王子集落地蔵堂裏山

※ 今年積雪が多いため、雪消えの状況により開催日が遅れる場合がありますので、ご了承ください。

☎ 小国グリーン・ツーリズム推進協議会 ☎ 95-5906 (小国支所産業建設課 商工観光係内)

## くらしのカレンダー

4 月			
日	曜日	行事等	小国診療所
20	金		診療
21	土		午前診療
22	日		休診
23	月	狂犬病予防定期集合注射 10:30~11:30 小国会館 13:00~14:00 小国支所裏車庫	診療
24	火		診療
25	水	たんぽぽ健康相談 (子育て支援センター) 	診療
26	木		診療
27	金		診療
28	土	みんなの体験館 米粉で作るパン	休診
29	日		休診
30	月	みんなの体験館 春の薬膳 (薬膳茶)	休診

5 月			
日	曜日	行事等	小国診療所
1	火	小国芸術村オープニングイベント 「小国紙に描くー青木洋子作品ー」 ~5月13日まで 八石ぼたん(シラネアオイ)鑑賞会 ~5月10日まで	診療
2	水		診療
3	木	小国地域成人式 	休診
4	金		休診
5	土	おぐに桜まつり	休診
6	日	おぐに桜まつり	休診
7	月		診療
8	火		診療
9	水		診療
10	木		診療
11	金		診療
12	土		休診
13	日	小国地域総合センター竣工式 みんなの体験館 ファンタジックな 花の絵	休診
14	月		診療
15	火	心の健康相談 (小国診療所検診棟)	診療
16	水		診療
17	木		診療
18	金		診療
19	土	小国芸術村 「地域と人を結ぶ交流展ー四人展ー」 ~6月17日まで	午前診療

※ みんなの体験館 は通常午前 9 時 30 分からです。  
人数制限、体験料等は「みんなの体験館(電話95-3161)」までお問合せください。

## 小国地域の人口(平成24年4月1日現在)

			前月比
人口総数		6,104	-20
内訳	男	2,959	-8
	女	3,145	-12
世帯数		2,109	-2

